

表 7. 経済状態の自己認識と運動 (n.s.)

			過去6ヶ月間に、「歩く」程度の運動を1日平均1時間以上したか		合計
			していた	していない	
経済状態	中の中より上	度数	1399	643	2042
		経済状態の%	68.5%	31.5%	100.0%
	中の下より下	度数	621	292	913
		経済状態の%	68.0%	32.0%	100.0%
合計		度数	2020	935	2955
		経済状態の%	68.4%	31.6%	100.0%

表 8. 経済状態の自己認識と普段の食生活 (食事時間の楽しさ) (p<0.01)

			普段の食生活について当てはまること_食事時間が楽しい					合計
			あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
経済状態	中の中より上	度数	953	615	349	74	48	2039
		経済状態の%	46.7%	30.2%	17.1%	3.6%	2.4%	100.0%
	中の下より下	度数	361	283	193	44	33	914
		経済状態の%	39.5%	31.0%	21.1%	4.8%	3.6%	100.0%
合計		度数	1314	898	542	118	81	2953
		経済状態の%	44.5%	30.4%	18.4%	4.0%	2.7%	100.0%

表 9. 経済状態の自己認識と普段の食生活 (食事時間の待ち遠しさ) (n.s.)

			普段の食生活について当てはまること_食事の時間が待ち遠しい					合計
			あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
経済状態	中の中より上	度数	698	592	543	123	81	2037
		経済状態の%	34.3%	29.1%	26.7%	6.0%	4.0%	100.0%
	中の下より下	度数	292	269	239	74	40	914
		経済状態の%	31.9%	29.4%	26.1%	8.1%	4.4%	100.0%
合計		度数	990	861	782	197	121	2951
		経済状態の%	33.5%	29.2%	26.5%	6.7%	4.1%	100.0%

表 1 0. 経済状態の自己認識と普段の食生活（食卓の雰囲気は明るさ）（ $p<0.001$ ）

			普段の食生活について当てはまること_食卓の雰囲気は明るい					合計
			あてはまる	どちらかとい えばあてはま る	どちらともい えない	どちらかとい えばあてはま らない	あてはまらな い	
経済状態	中の中より上	度数	718	616	509	123	70	2036
		経済状態の %	35.3%	30.3%	25.0%	6.0%	3.4%	100.0%
	中の下より下	度数	243	272	248	78	72	913
		経済状態の %	26.6%	29.8%	27.2%	8.5%	7.9%	100.0%
合計		度数	961	888	757	201	142	2949
		経済状態の %	32.6%	30.1%	25.7%	6.8%	4.8%	100.0%

表 1 1. 経済状態の自己認識と普段の食生活（食事に対する満足感）（ $p<0.001$ ）

			普段の食生活について当てはまること_日々の食事に満足している					合計
			あてはまる	どちらかとい えばあてはま る	どちらともい えない	どちらかとい えばあてはま らない	あてはまらな い	
経済状態	中の中より上	度数	819	642	373	128	70	2032
		経済状態の %	40.3%	31.6%	18.4%	6.3%	3.4%	100.0%
	中の下より下	度数	298	284	210	80	39	911
		経済状態の %	32.7%	31.2%	23.1%	8.8%	4.3%	100.0%
合計		度数	1117	926	583	208	109	2943
		経済状態の %	38.0%	31.5%	19.8%	7.1%	3.7%	100.0%

表 1 2. 経済状態の自己認識と小学生の頃の食事に対する印象（ $p<0.001$ ）

			小学生のころ、食事が楽しく心地よかったという印象はあるか					合計
			持っている	どちらかとい えば持っている	どちらともい えない	どちらかとい えば持ってい ない	全く持ってい ない	
経済状態	中の中より上	度数	1170	541	233	78	28	2050
		経済状態の %	57.1%	26.4%	11.4%	3.8%	1.4%	100.0%
	中の下より下	度数	389	256	162	70	38	915
		経済状態の %	42.5%	28.0%	17.7%	7.7%	4.2%	100.0%
合計		度数	1559	797	395	148	66	2965
		経済状態の %	52.6%	26.9%	13.3%	5.0%	2.2%	100.0%

表 1 3. 経済状態の自己認識と普段の食生活（野菜料理の摂取行動）（n.s.）

			1日に野菜料理を何皿食べているか					合計
			ほとんど食べていない	1~2皿	3~4皿	5~6皿	7皿以上	
経済状態	中の中より上	度数	272	1268	366	77	67	2050
		経済状態の%	13.3%	61.9%	17.9%	3.8%	3.3%	100.0%
	中の下より下	度数	149	530	162	40	34	915
		経済状態の%	16.3%	57.9%	17.7%	4.4%	3.7%	100.0%
合計		度数	421	1798	528	117	101	2965
		経済状態の%	14.2%	60.6%	17.8%	3.9%	3.4%	100.0%

表 1 4. 経済状態の自己認識と結婚に対する考え（ $p<0.001$ ）

			結婚に対する考え			合計
			いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	考えたことがない	
経済状態	中の中より上	度数	1685	70	277	2032
		経済状態の%	82.9%	3.4%	13.6%	100.0%
	中の下より下	度数	680	51	172	903
		経済状態の%	75.3%	5.6%	19.0%	100.0%
合計		度数	2365	121	449	2935
		経済状態の%	80.6%	4.1%	15.3%	100.0%

表 1 5. 経済状態の自己認識と子供を持つことの希望（ $p<0.01$ ）

			将来、子供がほしいか		合計
			子供は欲しくない	子供は欲しい	
経済状態	中の中より上	度数	231	1786	2017
		経済状態の%	11.5%	88.5%	100.0%
	中の下より下	度数	132	762	894
		経済状態の%	14.8%	85.2%	100.0%
合計		度数	363	2548	2911
		経済状態の%	12.5%	87.5%	100.0%

表 1 6. 経済状態の自己認識と家庭の築き方 (p<0.001)

			自分が育ったような家庭を自分も築きたいと思うか			合計
			思う	思わない	わからない	
経済状態	中の中より上	度数	1172	404	470	2046
		経済状態の %	57.3%	19.7%	23.0%	100.0%
	中の下より下	度数	308	350	253	911
		経済状態の %	33.8%	38.4%	27.8%	100.0%
合計		度数	1480	754	723	2957
		経済状態の %	50.1%	25.5%	24.5%	100.0%

表 1 7. 経済状態の自己認識と知識 (不妊の定義) (n.s.)

			不妊の定義を知っているか		合計
			知っていた	知らなかった	
経済状態	中の中より上	度数	598	1445	2043
		経済状態の %	29.3%	70.7%	100.0%
	中の下より下	度数	259	652	911
		経済状態の %	28.4%	71.6%	100.0%
合計		度数	857	2097	2954
		経済状態の %	29.0%	71.0%	100.0%

表 1 8. 経済状態の自己認識と知識 (妊よう力の低下) (p<0.05)

			30歳を過ぎると妊よう力が低下することを知っていたか			合計
			よく知っていた	少しは知っていた	全く知らなかった	
経済状態	中の中より上	度数	534	1074	433	2041
		経済状態の %	26.2%	52.6%	21.2%	100.0%
	中の下より下	度数	224	524	161	909
		経済状態の %	24.6%	57.6%	17.7%	100.0%
合計		度数	758	1598	594	2950
		経済状態の %	25.7%	54.2%	20.1%	100.0%

表 1 9. 経済状態の自己認識と知識（不妊治療の成功率）（n.s.）

		年齢とともに不妊治療の成功率は低下することを 知っていたか			合計	
		よく知っていた	少しは知っていた	全く知らなかった		
経済状態	中の中より上	度数	375	994	664	2033
		経済状態の%	18.4%	48.9%	32.7%	100.0%
	中の下より下	度数	148	456	306	910
		経済状態の%	16.3%	50.1%	33.6%	100.0%
合計		度数	523	1450	970	2943
		経済状態の%	17.8%	49.3%	33.0%	100.0%

表 2 0. 経済状態の自己認識と避妊方法の選択意向（n.s.）

		安全な性交渉のため選択する避妊方法						合計	
		コンドーム	ピル	女性用コンドーム	射精までに至らないよう性交する方法	排卵日を選ぶ方法(視野式)	その他		
経済状態	中の中より上	度数	1246	183	18	33	34	19	1533
		経済状態の%	81.3%	11.9%	1.2%	2.2%	2.2%	1.2%	100.0%
	中の下より下	度数	556	87	11	22	15	11	702
		経済状態の%	79.2%	12.4%	1.6%	3.1%	2.1%	1.6%	100.0%
合計		度数	1802	270	29	55	49	30	2235
		経済状態の%	80.6%	12.1%	1.3%	2.5%	2.2%	1.3%	100.0%

表 2 1. 【女子のみ】経済状態の自己認識と月経痛の経験（過去6か月）（n.s.）

		過去6ヶ月間で生理痛があったか				合計	
		全くない	あまりない	あった(日常生活に支障がない程度)	あった(しばしば学校や仕事を休みたくなるほど)		
経済状態	中の中より上	度数	88	158	545	317	1108
		経済状態の%	7.9%	14.3%	49.2%	28.6%	100.0%
	中の下より下	度数	40	62	231	150	483
		経済状態の%	8.3%	12.8%	47.8%	31.1%	100.0%
合計		度数	128	220	776	467	1591
		経済状態の%	8.0%	13.8%	48.8%	29.4%	100.0%

教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」
に対する大学生の意識調査

研究分担者 吉川 弘明（金沢大学保健管理センター）

研究協力者 足立 由美（金沢大学保健管理センター）

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」(研究代表者:山縣然太郎)で作成された教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」に対する大学生の評価をアンケート調査を行い、分析した。有効回答数は 101 名、内訳は男性 43 名(42.6%)、女性 58 名(57.4%)であった。その結果、パンフレットは大学生にとって重要な内容を扱っており、見やすさでも高い評価を得られた。性的な内容については重要であるが、他者と話し合うのに抵抗があると考えられるため、授業で扱ってほしいという要望があることが示された。今後、このパンフレットを使い、どのような教育活動ができるか、実証が必要となる。

A.研究目的

社会における大学の役割は時代とともに変遷し、昨今はキャリア教育に重点が置かれる傾向にある。しかし、大学には生涯にわたるライフプランを考え、心身の健康を育むための教育過程の最終拠点としての役割も期待される。特に少子化が進む我が国の将来を見据え長期的な展望のもと、家族を単位としたコミュニティーの健全な育成は喫緊の課題である。これまでは、キャリアプランと並べてライフプランを取り上げる機会は少なかった。この研究は近い将来、親となる若い男女に、結婚、出産をライフプランの中の重要項目として位置づけさせるために、大学生の心身の健康に関する意識調査をして、その結果を教育に生かすための実践的研究活動である。

本研究は大学における一般教養としての健康教育実践の評価と方法論を検討する一連の取り組みの発展的研究である。1990 年頃から全国の大学において保健管理センターが健康教育を実施するようになってきた。その内容は「家庭の医学」のような一般社会人を対象としたものよりも、やや

レベルの高いものを目指し、それぞれの教員の専門性を生かした内容であったが、予防医学的な視点がかかり取り入れられている(「学生と健康」国立大学等保健管理施設協議会 編集、株式会社 南江堂 1996 年発行)。その後、それぞれの大学の実情に合わせた健康教育が推進された。また、「学生と健康」は 2001 年に改訂第 2 版が、2011 年には「新版 学生と健康 -若者のためのヘルスリテラシー-」が発刊されている。金沢大学独自の取り組みとしては、2007 年より 4 年間にわたり実施された「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援 GP)」の「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵を持った学生の育成-」により、食育や地域社会との連携の過程で心と体の両面から学生を成長させる教育プログラムが開発された。これらのプログラムは現在、共通教育特設プログラム「健康・自己管理」(正課教育)と学生支援プログラム(正課外教育)に引き継がれている。一方、我々は平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母

子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」(研究代表者:山縣然太郎)の一員として「大学における女子学生の健康に関する実態と対策に関する研究」を行った(同班 平成 24 年度 統括・分担研究報告書 平成 25 年 3 月)。この事業で教育用パンフレット「知っていますか?男性のからだのこと、女性のからだのこと」が、大学生の教材として作成され、本学では平成 26 年度前期に開講される導入教育科目「大学社会生活論」の一部「健康論」の資料として配布する予定である。

B.研究方法

平成 25 年度に金沢大学では、若い男女のライフプランに関する意識調査のデータ収集と、平成 24 年度山縣班研究で作成された教育用パンフレット「知っていますか?男性のからだのこと、女性のからだのこと」の評価を行った。

1. 研究対象者

金沢大学の共通教育の講義の中で、「心と体の健康」、「ストレス臨床心理学」、「メンタルトレーニング」を受講した学生を対象とし、男性 60 名、女性 60 名を目標に協力を依頼した。

2. 調査内容

若い男女のライフプランに関する意識調査のデータ収集については、岐阜大学が作成した調査用紙(資料 1)を用いた(以下、「アンケート 1」とする)。教育用パンフレット「知っていますか?男性のからだのこと、女性のからだのこと」の評価については、金沢大学で作成した調査用紙(資料 5)を用いた(以下、「アンケート 2」とする)。

3. 調査方法

上述の講義終了時にアンケート1と、パンフレット「知っていますか?男性のからだのこと、女性のからだのこと」と、アンケート 2 を配布し、回答手順を説明した上で記入を求めた。なお、今回の調査では、アンケートに答えた学生が聴講し

ていた講義内容はパンフレットの内容とは関係のないものであった。アンケート 2 は、パンフレットを通読後記入するように指示した。金沢大学で回収したアンケート 1 は研究代表者が所属する岐阜大学保健管理センターに研究分担者が郵送し、研究代表者が Microsoft Excel に入力した。金沢大学ではアンケート2の評価のため、アンケート1も匿名でデータを連結し、入力を行った。

(倫理面への配慮)

調査に際しては金沢大学医学倫理審査委員会の審査を経て、実施した。なお、データの扱いは名前等が特定できる個人情報に含まれていない。また、協力を希望しない学生に対して、授業等で不利益が生じないように配慮した。

4. 統計解析

SPSS Ver. 19 (日本 IBM) により解析を行った。

C.研究結果

1. 研究対象者の内訳

回収部数は 125 部であった。アンケート1(若い男女のライフプランに関する意識調査)の有効回答数は 121、アンケート 2(「知っていますか?男性のからだのこと、女性のからだのこと」)の有効回答数は 101 であった。アンケート 2 回答者の内訳は男性 43 名(42.6%)、女性 58 名(57.4%)であった。所属別では、人文社会系 53.4%、理科系 12.9%、医療系 33.7%であった。

2. アンケート2の集計結果

パンフレットに関する評価は 10 項目について「1 全くあてはまらない」から「7 非常にあてはまる」までの7件法でたずねた(図 1~10)。「5 ややあてはまる」「6 あてはまる」「7 非常にあてはまる」を合計すると、パンフレットの内容については「興味をもてる」が 67.7%、「重要である」が 89.0%、と高い評価を受けた。パンフレットの出来については「大きさは適切である」が 66.0%、「厚さ(ページ数)は適切である」が 75.0%、「字の大きさは読

みやすい」が 83.0%、「見やすい・読みやすい」は 80.0%であった。具体的な改善案として、「内容に、大学での取り組み、相談の受付の情報を入れる。」「サイズを半分にする。ページ数は増えてもいいと思う。」「少し大きすぎると思った。悩んだ時の TEL 先を入れる。」「図をきれいにすると良いと思う。」などの自由記載があった。

パンフレットを「自分が持っておきたい」は 56.0%であったが、「友人(男性)に紹介したい」は 32.0%、「友人(女性)に紹介したい」は 34.0%に低下した。「交際相手に紹介したい」は 42.0%であった。

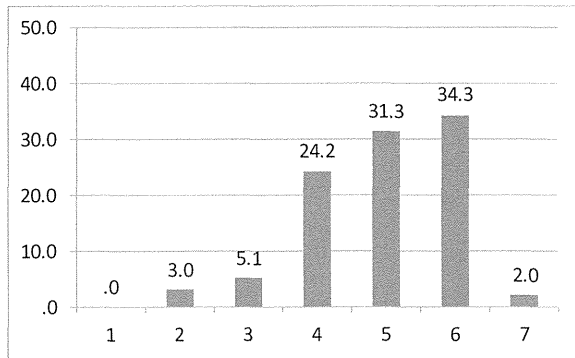


図 1 「パンフレットの内容は興味を持てる」

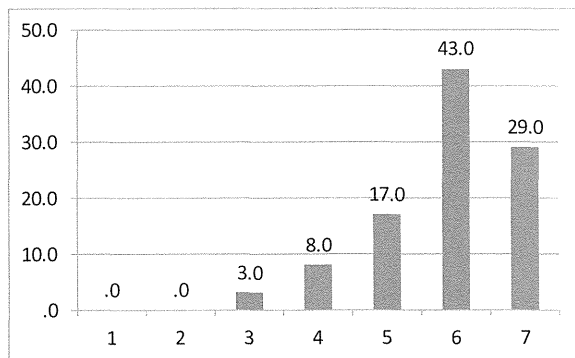


図 2 「パンフレットの内容は重要である」

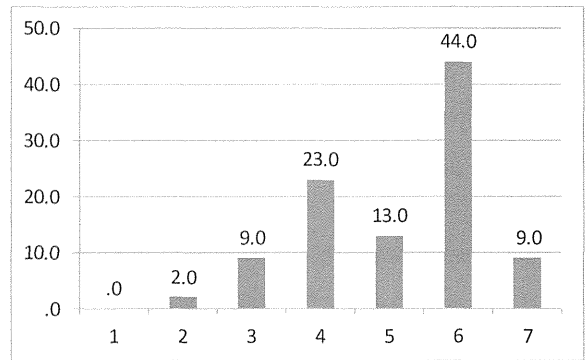


図 3 「パンフレットの大きさは適切である」

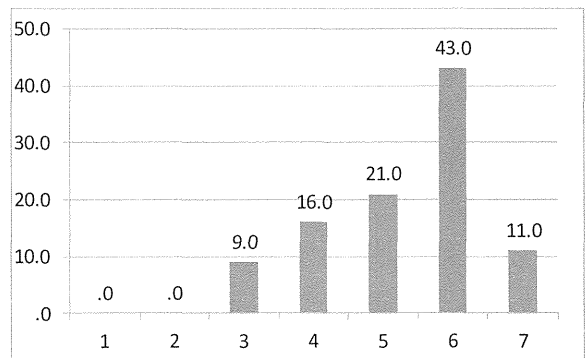


図 4 「パンフレットの厚さ(ページ数)は適切である」

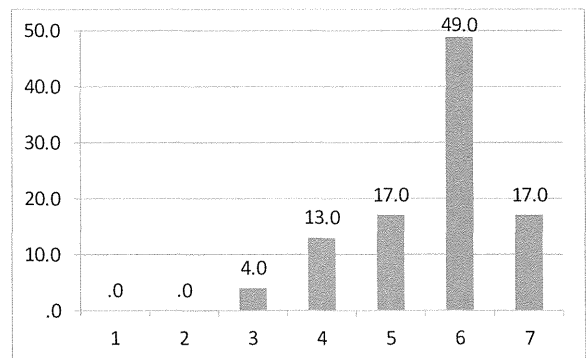


図 5 「パンフレットの字の大きさは読みやすい」

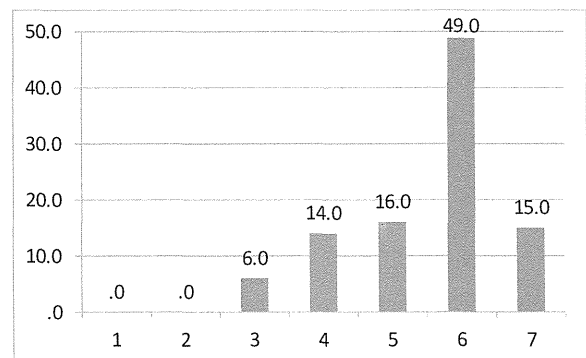


図 6 「パンフレットは見やすい・読みやすい」

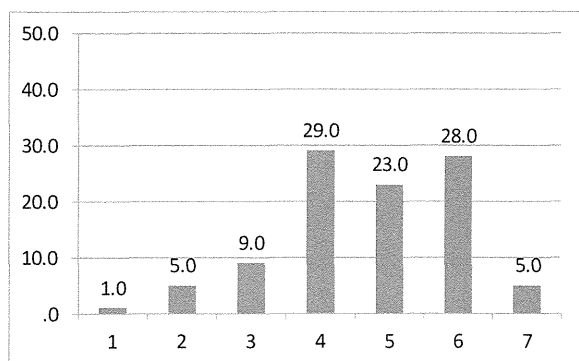


図7 「パンフレットを持っておきたい」

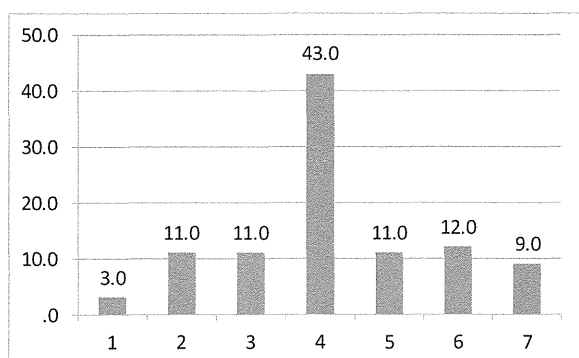


図8 「パンフレットを友人(男性)に紹介したい」

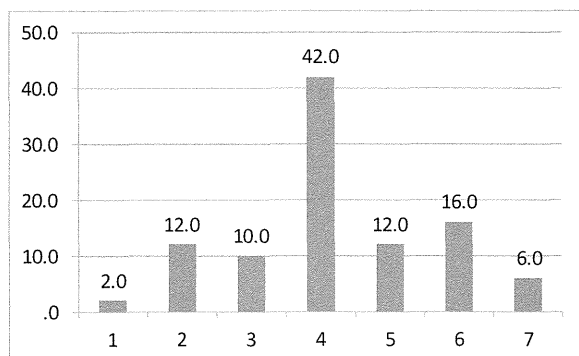


図9 「パンフレットを友人(女性)に紹介したい」

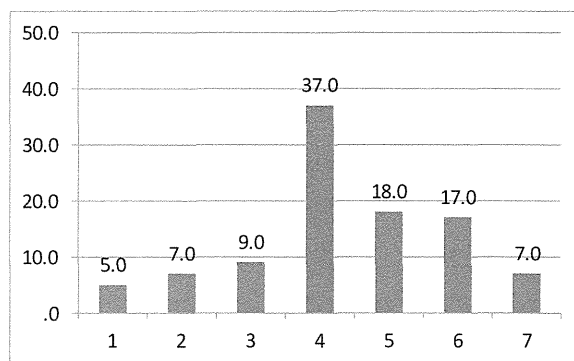


図10 「パンフレットを交際相手に紹介したい」

(図 1~10: 図中の回答数(縦軸)はパーセント(%)で示す。横軸は回答 7 件法の選択番号を示す。1;全くあてはまらない、2;;あてはまらない、3;ややあてはまらない、4;どちらともいえない、5;ややあてはまる、7;あてはまる、7;非常にあてはまる)

パンフレットに必要と思う内容、および、必要ないと思う内容については、12 項目について複数回答可で回答を求めた。まず、図 11 に示したように、パンフレットの内容で必要ないと感じた内容は少ないことがわかった。必要と思う内容として最も回答が多かったのは「妊娠について」で 55.4%、次に「性感染症について」の 53.5%、次に「避妊について」の 52.5%であった。

パンフレットを宣伝するのに効果的な方法については、図 12 に示したように、「授業で配布する」が 62.4%で最も回答が多かった。

3. アンケート1の基本属性を用いたアンケート2の検定結果

パンフレットに関する評価10項目について、性別で t 検定を行ったが、評価に性差は見られなかった。所属別で一元配置分散分析を行った結果、「友人(女性)に紹介したい」に有意差が見られ、理科系より医療系の学生のほうに得点が有意に高かった($F_{(2,97)}=4.680, p<0.05$)。

パンフレットに必要と思う内容について、性別で χ^2 検定を行った結果、「健康で充実した人生のために($\chi^2_{(1)}=6.404, p<0.05$)」と「男性に多い性の悩み($\chi^2_{(1)}=10.268, p<0.01$)」に性差があり、ともに男性で必要と回答した人が有意に

多かった。

D. 考察

平成 25 年度はアンケート 2 の分析を中心に行った。若い男女に、結婚、出産をライフプランの中の重要項目として位置づけさせる目的で作成された教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」は、今回の調査で、大学生が興味をもてる、重要な内容を扱っており、見やすさでも高い評価を得たと考えられる。性的な内容については重要であるが、他者と話し合うのに抵抗があると考えられるため、大学生にとって授業で扱ってほしい内容であることも示唆された。

E. 結論

教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」には、我が国の未来を担う大学生にとって必要な情報含まれており、大学生にも有用な資料として評価された。今後、このパンフレットを使い、どのような教育活動ができるか、実証が必要となる。また、それを踏まえ、より有用な教育用パンフレットとなるよう改訂をすすめていきたい。

【参考文献】

- 1) 「ライフプランを考えた男女のための健康パンフレット」平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」班

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表
 - 1) 吉川弘明、山本真由美、足立由美、山縣然

太朗:「妊娠出産の視点からの大学生の健康支援の必要性ー全国大学保健管理施設の調査ー」第 72 回日本公衆衛生学会総会 於 三重県総合文化センター 2013.10.23 ~25

- 2) Mayumi Yamamoto, Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Aki Kanoh, Yuki Isomura, Tadahiro Sado, Akihiro Nishio: “Promotion for Japanese University Students to Consider Life Planning: Career Life and Family Life.” 2013 the 29th International Congress of the Medical Women’s International Association, Ewha Womans University, Seoul, Korea, July31-August 3, 2013.

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

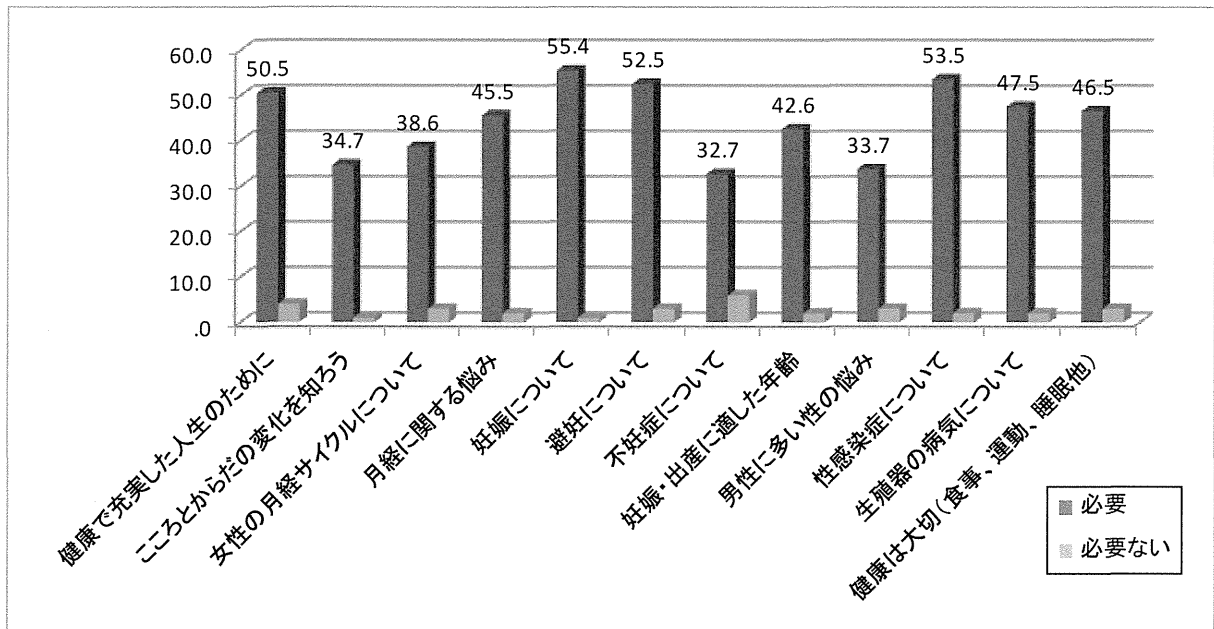


図 11 パンフレットに必要／必要ない内容(複数回答可)(縦軸は%を示す)

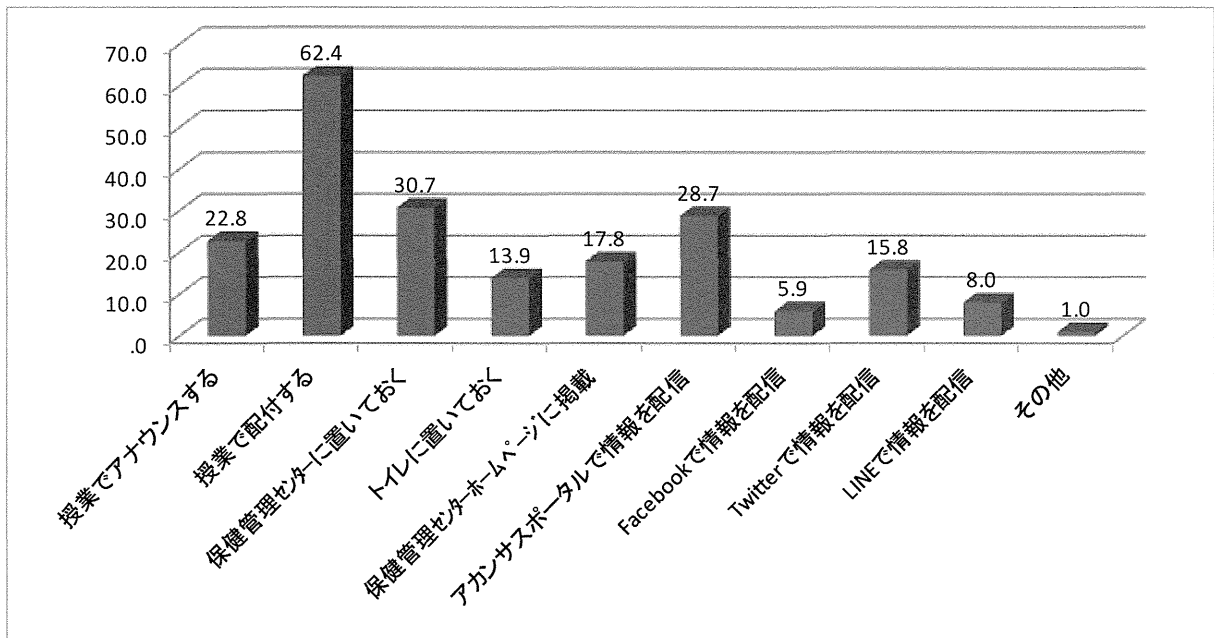


図 12 パンフレットを宣伝するのに効果的な方法(複数回答可)(縦軸は%を示す)

(資料5) 学生の皆さんへ パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」についてのアンケート用紙(本文中 アンケート2)

学生の皆さんへ

パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、 女性のからだのこと」についてのアンケート

このパンフレットは、皆さんの充実した人生の実現のために、今から知っておいてほしいことをまとめたものです。このパンフレットについての感想を率直にお聞かせください。記入者名は何いませんで、ありのままを気軽に（あまり考えすぎないで）教えてください。

質問票の内容は、データベース化した後、統計処理し、その結果を公表することはありますが、個人が特定されるような情報を公開することは一切ありません。また、回答用紙はデータの入力後、速やかに破棄されます。

もし、協力いただけない場合は、用紙を白紙のまま返却して下さい。協力いただけない場合でも、不利益を被ることは一切ありません。

金沢大学

尚、本意識調査は厚生労働省：政策科学総合研究事業「若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラム開発に関する研究」(25010301)の研究活動のひとつで、研究代表者(山本眞由美)の所属大学(岐阜大学大学院医学系研究科 医学研究等倫理審査委員会)の審査で承認されています。

Q1 あてはまるもの1つをマークしてください。

	1 全くあてはまらない	2 あてはまらない	3 やや あてはまらない	4 どちらとも いえない	5 ややあてはまる	6 あてはまる	7 非常にあてはまる
1 パンフレットの内容は興味をもてるものである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 パンフレットの内容を知っておくことは重要である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 パンフレットの大きさは適切である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 パンフレットの厚さ（ページ数）は適切である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 パンフレットの字の大きさは読みやすい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 パンフレットは見やすい・読みやすい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 このパンフレットを持っておきたい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 このパンフレットを友人（男性）に紹介したい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 このパンフレットを友人（女性）に紹介したい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 このパンフレットを交際相手に紹介したい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2 パンフレットを読んで、もっと知りたいと思った内容、項目を自由に記載してください。

Q3 パンフレットに必要と思う内容すべてをマークしてください。（複数回答可）

- 健康で充実した人生のために (P1)
- まずはこころとからだの変化を知ろう！ (P1)
- 女性の月経サイクルについて (P2)
- 月経に関する悩み (P2)
- 妊娠について (P3)
- 赤ちゃんを育てる準備ができていないときは（避妊について）(P4)
- 不妊症について (P5)
- 男性・女性ともに妊娠・出産には適した年齢があります (P6)
- 男性に多い性の悩み (P7)
- 性感染症について (P8)
- 生殖器の病気について (P10)
- 健康は大切～健やかな妊娠・子育て・家庭生活～ (P11)

Q4 パンフレットに必要ないと思う内容すべてをマークしてください。(複数回答可)

- 健康で充実した人生のために (P1)
- まずはこことからだの変化を知ろう！ (P1)
- 女性の月経サイクルについて (P2)
- 月経に関する悩み (P2)
- 妊娠について (P3)
- 赤ちゃんを育てる準備ができていないときは(避妊について) (P4)
- 不妊症について (P5)
- 男性・女性ともに妊娠・出産には適した年齢があります (P6)
- 男性に多い性の悩み (P7)
- 性感染症について (P8)
- 生殖器の病気について (P10)
- 健康は大切～健やかな妊娠・子育て・家庭生活～ (P11)

Q5 パンフレットの改善案(こうすればもっとよくなるという具体案)を自由に記載してください。

Q6 パンフレットを宣伝するのにどのような方法が効果的だと思いますか？(複数回答可)

- 授業でアナウンスする
- アカサスポータル(学内ポータルサイト)で情報を配信する
- 授業で配付する
- Facebookで情報を配信する
- 保健管理センターに置いておく
- Twitterで情報を配信する
- トイレに置いておく
- LINEで情報を配信する
- 保健管理センターホームページに掲載する
- その他()

回答はこれで終了です。

ご協力ありがとうございました。

教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」
に対する大学生（新入生）の意識調査

研究分担者 吉川 弘明 （金沢大学保健管理センター）

研究協力者 足立 由美 （金沢大学保健管理センター）

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」で作成された教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」に対する大学1年生の評価をアンケート調査により、分析した。有効回答数は 1,099 名、内訳は男性 691 名(62.9%)、女性 408 名(37.1%)であった。パンフレットは大学生にとって重要な内容を扱っており、見やすさでも高い評価を得られた。男女の体や性感染症、妊娠・出産に関する教育はすでに高校まででなされているという意見もあるが、このパンフレットの目指したライフプランを考える機会を大学生が持つということも、重要であると考えられた。

A. 研究目的

大学における一般教養としての健康教育は、重要な課題であり、全国大学保健管理協会においても共通の認識としている。その担い手としての保健管理センターの役割は重要で、我々の調査では、調査した 79.2%の大学の保健管理施設では、健康全般、メンタル対策、食育などの健康教育を教養課程における正課科目として実施している[参考文献 1]。しかし、保健管理センターの教員の多くは、内科系教員であり、男女の体の特性、妊娠出産に関する性教育、性感染症予防、望まない妊娠に対する予防的措置に関する教育はあまりされていない。昨年の我々の少数例におけるパイロット的調査で、平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」班（山縣班）で作成された教育用パンフレット『知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと』（資料 2）に対する意識調査では、このパンフレットに対する大学 1 年生の高い関心

が明らかになった。今回、本パンフレットの内容が配布のみで周知できるのか、さらにパンフレットを使った教養教育としての授業をすることが効果的なのかを検討するために、本教材を金沢大学の医学系、保健学系を除く新入生に配布し、感想を広く集計した。

B. 研究方法

平成 26 年度に金沢大学では、平成 25 年度に引き続いて、平成 24 年度山縣班研究で作成された教育用パンフレット『知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと』（資料 2）の内容について評価を行った。特に教育用資料として学生の興味を引く内容か、不足している内容はないかにつき、学生の視点を重視した調査を心がけた。

1. 研究対象者

金沢大学の1年生の必修科目である「大学・社会生活論」で筆者らは「健康論」を1コマ90分担当している。この「健康論」を受講した学生を対象とした。

2. 調査内容

教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」に対する評価、すなわち教育用資料として学生の興味を引く内容か、必要と思う内容、必要と思わない内容、配布方法、パンフレットの改善案について、平成25年度に金沢大学で作成した調査用紙を用いた。基本属性についても記載を求めた。

3. 調査方法

上述の講義開始時にパンフレット『知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと』（資料2）とアンケート用紙（添付資料）を配布し、講義終了時にパンフレットを通読後アンケートに記入するように回答手順を説明した上で記入を求めた。なお、今回の調査では、アンケートに答えた学生が聴講していた講義内容はパンフレットの内容とは関係のないものであった。回収したアンケート用紙は本研究班事務局の岐阜大学保健管理センターに郵送し、データ入力した。

（倫理面への配慮）

調査に際しては、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を経た後、共通教育のカリキュラム委員会で、調査を実施することについて了承を得て、実施した。なお、データの扱いは名前等が特定できる個人情報には含まれていない。また、協力を希望しない学生に対して、授業等で不利益が生じないように配慮した。

4. 統計解析

SPSS Ver. 19（日本IBM）により解析を行った。

C. 研究結果

1. 研究対象者の内訳

回収部数は1,237部であった。性別と所属のないものを無効とした結果、アンケートの有効回答数は1,099であった。回答者の内訳は男性691名（62.9%）、女性408名（37.1%）であった。所属別では、人文社会系564名（51.3%）、理科系

462名（42.0%）、医療系65名（5.9%）、その他8名（0.7%）であった。

2. アンケートの集計結果

パンフレットに関する評価は10項目について「1 全くあてはまらない」から「7 非常にあてはまる」までの7件法でたずねた（図1～10）。「5 ややあてはまる」「6 あてはまる」「7 非常にあてはまる」を合計すると、パンフレットの内容については「興味をもてる」が59.9%、「重要である」が87.2%、と高い評価を受けた。パンフレットの出来については「大きさは適切である」が69.8%、「厚さ（ページ数）は適切である」が78.0%、「字の大きさは読みやすい」が85.2%、「見やすい・読みやすい」は84.5%であった。

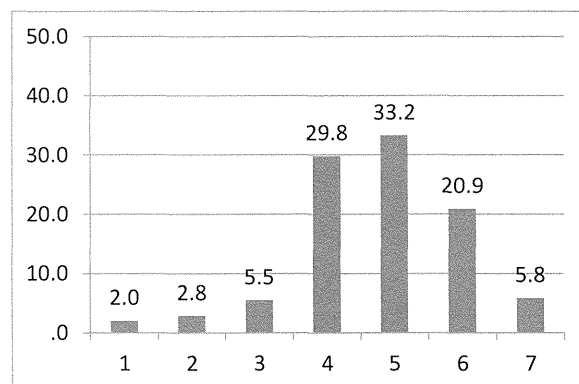


図1 「パンフレットの内容は興味を持てる」

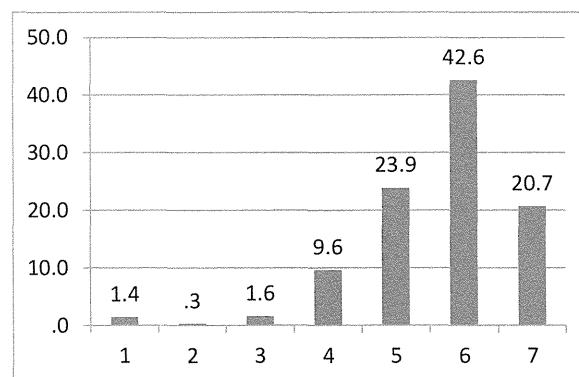


図2 「パンフレットの内容は重要である」

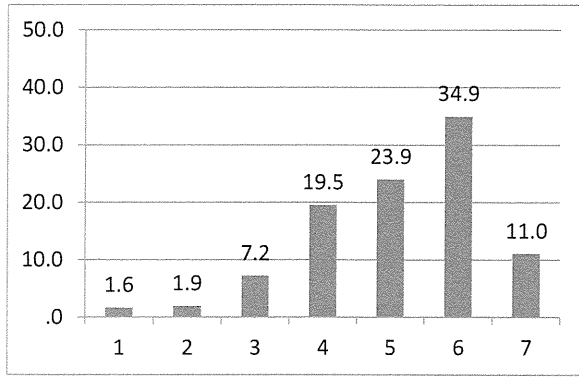


図3 「パンフレットの大きさは適切である」

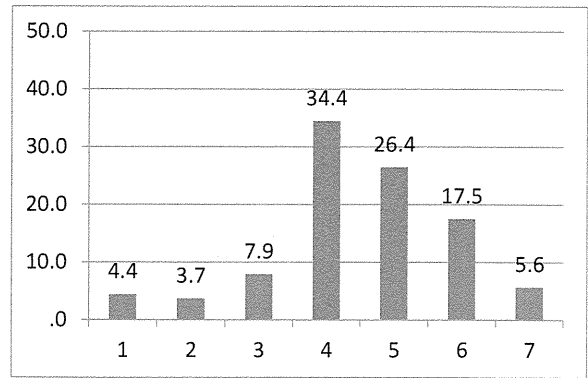


図7 「パンフレットを持っておきたい」

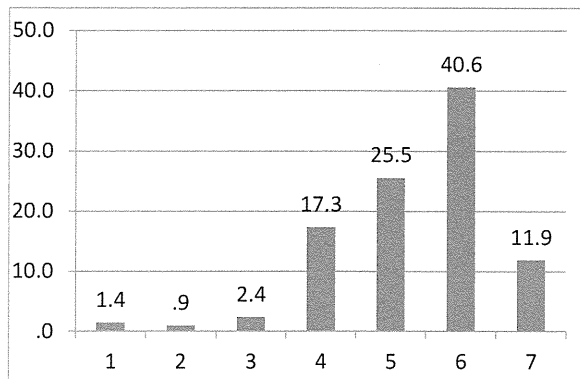


図4 「パンフレットの厚さ(ページ数)は適切である」

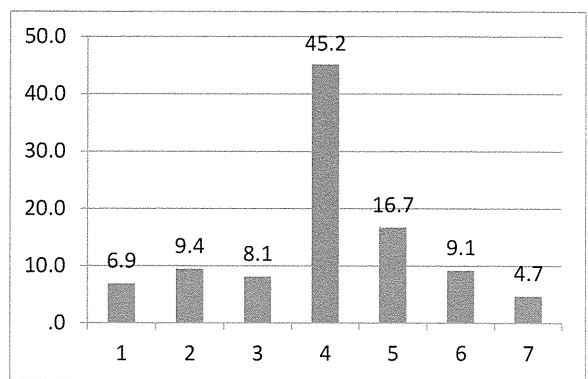


図8 「パンフレットを友人(男性)に紹介したい」

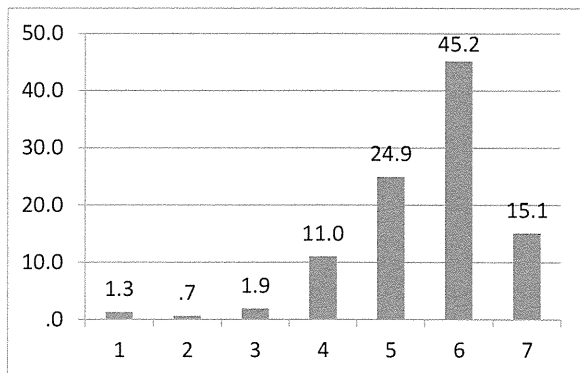


図5 「パンフレットの字の大きさは読みやすい」

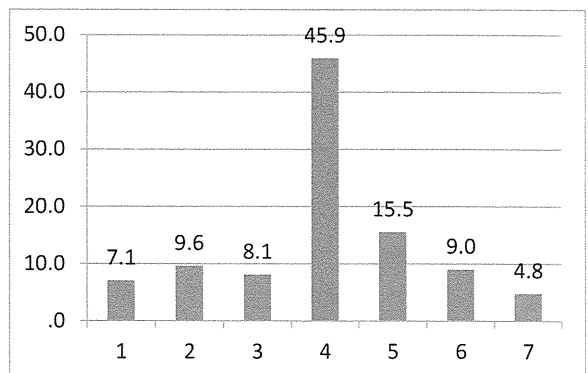


図9 「パンフレットを友人(女性)に紹介したい」

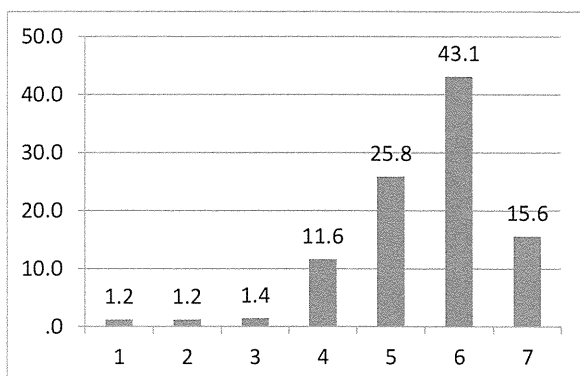


図6 「パンフレットは見やすい・読みやすい」

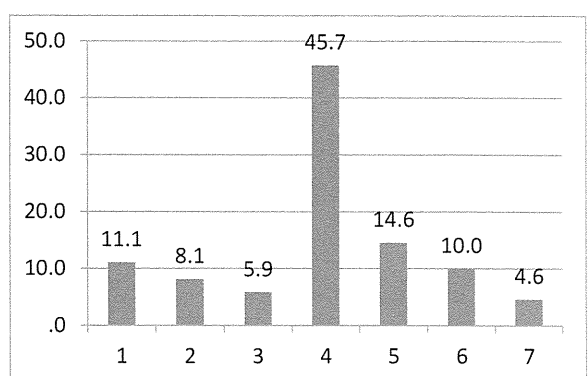


図10 「パンフレットを交際相手に紹介したい」

パンフレットを「自分が持っておきたい」は49.5%であったが、「友人(男性)に紹介したい」は30.5%、「友人(女性)に紹介したい」は29.3%、「交際相手に紹介したい」は29.2%であった。

具体的な改善案として、「健康面、心理面にもっと目を向けるとよいと思う。」「育児のことも書いてみたらいいと思う。」「実際の例がもっと多く載っていたら良かった。」「妊娠した場合の中絶問題や世間の目、まわりの人への影響、自身の心身ストレスなどを具体的に。」「男性向け、女性向けといった、性別を分けた方がよいと思う。」などの自由記載があった。

パンフレットに必要と思う内容、および、必要ないと思う内容については、12項目について複数回答可で回答を求めた。図11に示したように、パンフレットの内容で必要ないと感じた内容は少なかったことが分かった。必要と思う内容として最も回答が多かったのは「健康で充実した人生のために」で67.1%、次に「性感染症について」の50.2%、次に「健康は大切(食事、運動、睡眠他)」の49.2%であった。

パンフレットを宣伝するのに効果的な方法については、図12に示したように、「授業で配布する」が58.1%で最も回答が多く、授業で用いられる「ポータルサイトで情報を配信する」が次に多かった(37.3%)。

3. 基本属性を用いたアンケートの検定結果

パンフレットに関する評価10項目について、性別で t 検定を行った結果、5%水準で5項目に有意差が見られた。女性は男性よりパンフレットの内容が重要であると考え、パンフレットの厚さ、大きさ、読みやすさの評価が高く、パンフレットを持っておきたいと考える傾向が見られた。所属別で一元配置分散分析を行った結果、有意差は見られなかった。

パンフレットに必要と思う内容について、性別で χ^2 検定を行った結果、5項目に有意差が見ら

れた。男性が女性より必要と感じた内容は「健康で充実した人生のために($\chi^2_{(1)}=7.495, p<0.01$)」と「男性に多い性の悩み($\chi^2_{(1)}=17.117, p<0.001$)」であった。女性が男性より必要と感じた内容は「女性の月経サイクル($\chi^2_{(1)}=5.835, p<0.05$)」「月経に関する悩み($\chi^2_{(1)}=17.900, p<0.001$)」「妊娠について($\chi^2_{(1)}=7.524, p<0.01$)」であった。

所属別で χ^2 検定を行った結果、5項目に有意差が見られた。理科系の学生で「健康で充実した人生のために($\chi^2_{(2)}=7.973, p<0.05$)」と「男性に多い性の悩み($\chi^2_{(2)}=6.022, p<0.05$)」を必要と回答した人が多く、文系の学生で「月経に関する悩み($\chi^2_{(2)}=8.438, p<0.05$)」を必要と回答した人が多く、理科系に男性が多く、文系に女性が多いという性別の影響が大きいと考えられた。

D. 考察

平成26年度はアンケートの分析を中心に行った。今回の調査対象は、医学・保健系を除く、人文系、理工系、薬学系の学生であり、健康に興味を持つと思われる特定の学部ではなく、健康に関してはあくまでも教養教育、一般知識として学ぶ学生を扱った点が、社会における一般対象と同様の傾向が見られる可能性があるという意味で、意義深いと考えられる。若い男女に、結婚、出産をライフプランの中の重要項目として位置づける目的で作成された教育用パンフレット『知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと』(資料2)の内容は、医療系専攻でなくても大学生にとって興味もてる、重要な内容を扱っており、見やすさでも高い評価を得られたと考えられる。性的な内容については重要であるが、他者と話し合うのに抵抗があると考えられるため、大学生にとって授業で扱ってほしい内容であることも示唆された。男女の体や性感染症、妊娠・出産に関する

教育はすでに高校まででなされており、大学ではキャリアなどの教育を重視すべきという意見もあるが、本パンフレットの目指したライフプランを考える機会を大学生が持つということも、重要な課題であると考えられた。

E. 結論

教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」には、我が国の未来を担う大学生にとって必要な情報が含まれており、大学生にも有用な資料として評価された。特に今回の調査対象は、医学系、保健系を除く人文系、理工系、薬学系の学生であり、将来、医療とは直接関連のない分野で仕事につく学生が多かったことより、意義深い評価が得られたものと考えられる。今後、このパンフレットを使った教養教育パッケージの開発も視野に置いて、検討を進めていく予定である。また、大学によっては保健管理施設に専任教員が在籍しない小規模大学などもあるため、e ラーニング教材の開発を含めて、全国大学保健管理協会等、学会組織との議論も進めていく必要があると考えられた。

【参考文献】

1. 吉川弘明、足立由美、宮田正和、山本眞由美、守山茂樹、他. (2015) 国立大学法人保健管理施設協議会加盟校における食育の実施状況－国立大学法人保健管理施設協議会「食とウェルネスに関する調査研究班」-. CAMPUS HEALTH 52: 476-478.

F. 研究発表

1. 論文発表

1) 吉川弘明、足立由美:ライフプランを含む教育用パンフレットに対する評価と大学生への健康教育－大学生の健康教育へのニーズと必要性－ 金沢大学保健管理センター年

報・紀要 No.7(通巻 41) 68 - 75, 2015.

2. 学会発表

- 1) 吉川弘明、足立由美、山本眞由美、西尾彰泰、佐渡忠洋、堀田亮:教育用パンフレット「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと」に対する大学生の意識調査 第 56 回日本教育心理学会総会 於神戸、2014.11.7～9
- 2) 西尾彰泰、堀田亮、佐渡忠洋、吉川弘明、足立由美、松浦賢長、猪飼周平、高田昌代、林芙美、加納亜紀、磯村有希、山本眞由美 大学生における結婚、出産についての意識調査－大学の健康教育で何を教えるべきか？－ 第 52 回全国大学保健管理研究集会 東京、2014.9.3～4
- 3) 西尾彰泰、堀田亮、佐渡忠洋、吉川弘明、足立由美、松浦賢長、林芙美、山本眞由美 高校生を対象とした結婚、出産についての意識調査－保健の授業で何を教えるべきか？－ 第 57 回東海学校保健学会 岐阜、2014.9.6
- 4) 林芙美、西尾彰泰、堀田亮、佐渡忠洋、吉川弘明、足立由美、松浦賢長、山本眞由美:高校生・大学生における将来の結婚や子どもを持つことに対する意識と現在の食知識、食習慣、食に関する主観的 QOL の関連について。第 61 回 一般社団法人 日本学校保健学会 学術大会、金沢、2014.11.15～16.

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

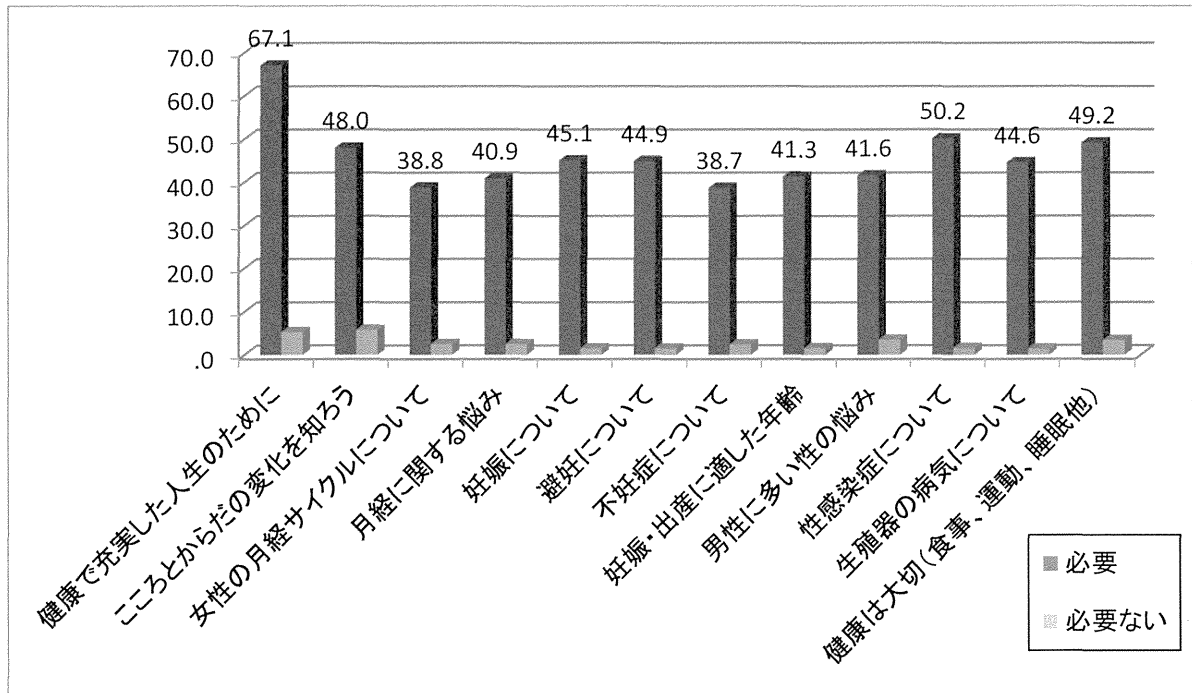


図 11 パンフレットに必要／必要ない内容(複数回答可)

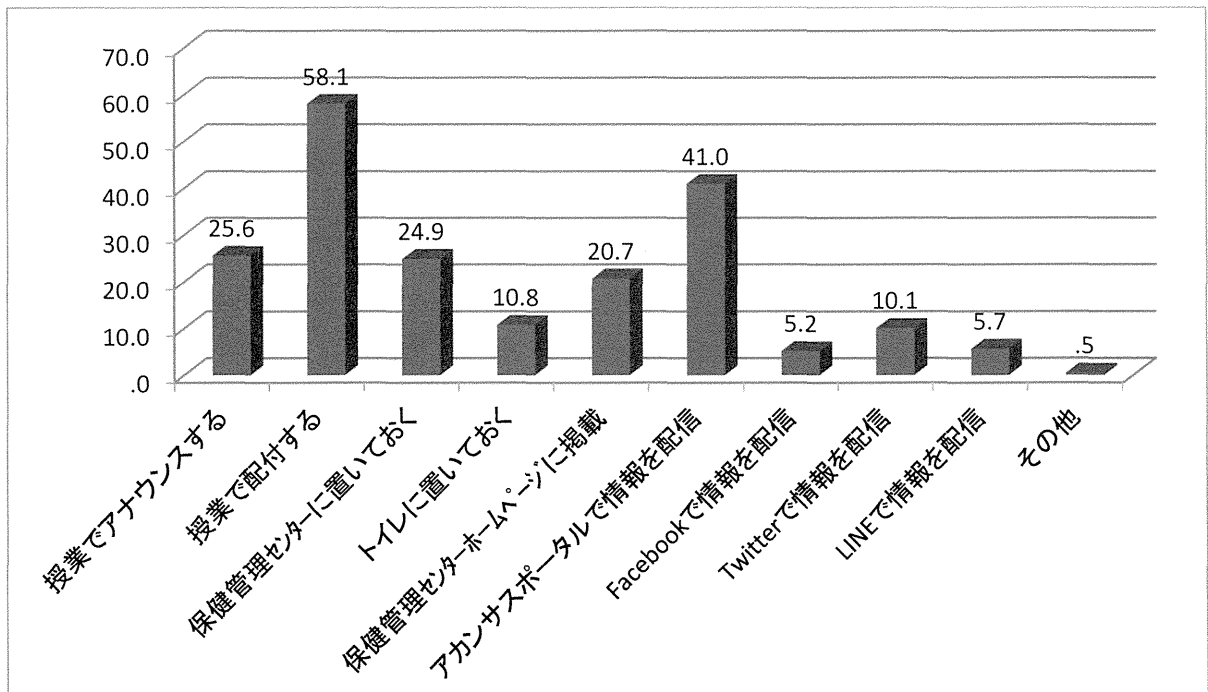


図 12 パンフレットを宣伝するのに効果的な方法(複数回答可)